



ソムリエ・ エクセレンスの 居場所

の生活をより豊かでより幸せにするお手伝いを「葡萄」と「くま」がします」というコンセプトだそうだ。

「亡くなった父が、『大型店を維持するのは大変だから、早く規模を小さくした方がいい。ただ、店の一角にはテーブルと椅子を置いて、近所の人がおしゃべりに来るような状態に常にしときなよ』とも言っていたので、気が付いたら結果的にその通りになっているので、父も喜んでくれていると思います」

高見澤さんは大学を卒業後、アサヒビールに就職し、ワインアドバイザーを取得し、その後、家業へ。子育てが一段落し、勉強時間がとれると思って、本格的にワインと向き合うことに。

「いきなりソムリエ・エクセレンスは難しいので、まずはワインエキスパートに挑戦したらというアドバイスを受けて、2021年に合格しました。ワインエキスパートを受けてよかったと思うのは、新しいワイン情報が一気に更新できたことと、ワイン検定講師になれたことです」

お店でワイン検定を実施したことで、それをきっかけにワインレッスンやワイン会を定期的に開いているし、ワイン付きのウクレレのワークショップ(1回のワークショップで簡単な曲が弾けるようになるというのがコンセプト)が大好評で4クラスも開いていて、今ではすっかり地域の人が集うコミュニティの場所となっている。

「ソムリエ・エクセレンスの特に3次試験に挑戦するなかで、今までの自己流の接客を見直し、修正するべきことに気づかせてくれました。目の前のお客様にどう対峙したらいいのか、今の仕事に本当に役立っています」



2023年
資格取得

高見澤陽子

埼玉支部
会員No.30735

葡萄とくま 代表取締役

ワインの知識を生かして、地域の活性化に貢献したい。

高見澤陽子さんは、酒販店の3代目。父から受け継いだ80坪の大型店を、5年前に、場所を移転し、思い切って7坪に縮小した。現在は15坪に改装し、その半分をワインショップ、もう半分を高見澤さんの妹さんが教えるテディベア教室やワイン会ができるようにし、そのコンセプトを店名にした。つまり「葡萄とくま」は、「『葡萄』と『くま』」と読む。店内には、ワインボトルのほかに、たくさんのかわいらしいテディベアがディスプレイされている。ワインとテディベアをつなぐキーワードは「幸せ」。日常の食事をより楽しくしてくれる「ワイン」と、見るだけでも癒しと安らぎを与えてくれる「テディベア」。「日々